

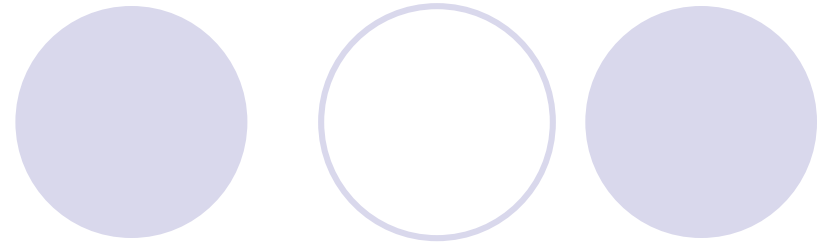
思春期保健事業

家族で学ぼう性のこと ～子どもにどう伝える？～

西宮市保健所

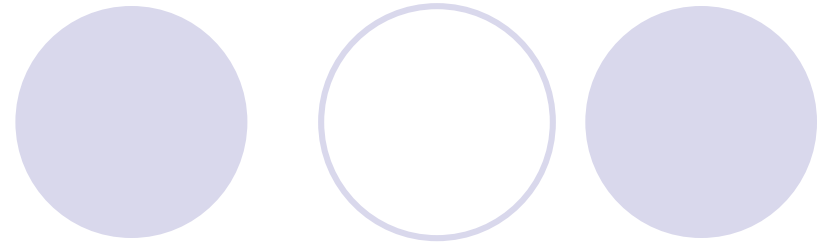


保護者の方へ



- 性教育の必要性
- 子どもの置かれている現状
- 性的虐待、性被害について
- 子どもと性について話すために

保護者の方へ



- 性教育の必要性
- 子どもの置かれている現状
- 性的虐待、性被害について
- 子どもと性について話すために

あなたにとって“性”とは？

【イメージ】

プラスイメージ？ マイナスイメージ？

【からだのこと知っていますか？】

性器を特別視しないで・・・

まず、自分の“性”に対する捉え方に気づくこと

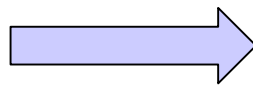
性の健康教育の必要性

大人の「3つの役割」

1. 性について正しい知識を身に付けること
2. 特別視したり、偏見を持たないこと
3. 子どもや家族にポジティブに伝え続けること

性教育は性行動を早める？

効果的なプログラムの性教育



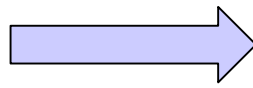
初交年齢が遅くなる

- 性の話題を家庭で話をしている人ほど初交年齢が遅く、性交相手の数も少ない
- 「性的メディア」で性情報を得ている人ほど売買春に肯定的

国連68か国の「若者と性の実態調査」より

性教育は性行動を早める？

効果的なプログラムの
性教育



初交年齢が遅くなる

- 性の話題を家庭で話をしている人ほど

➡ **正しい性の知識を
伝えることが大切**

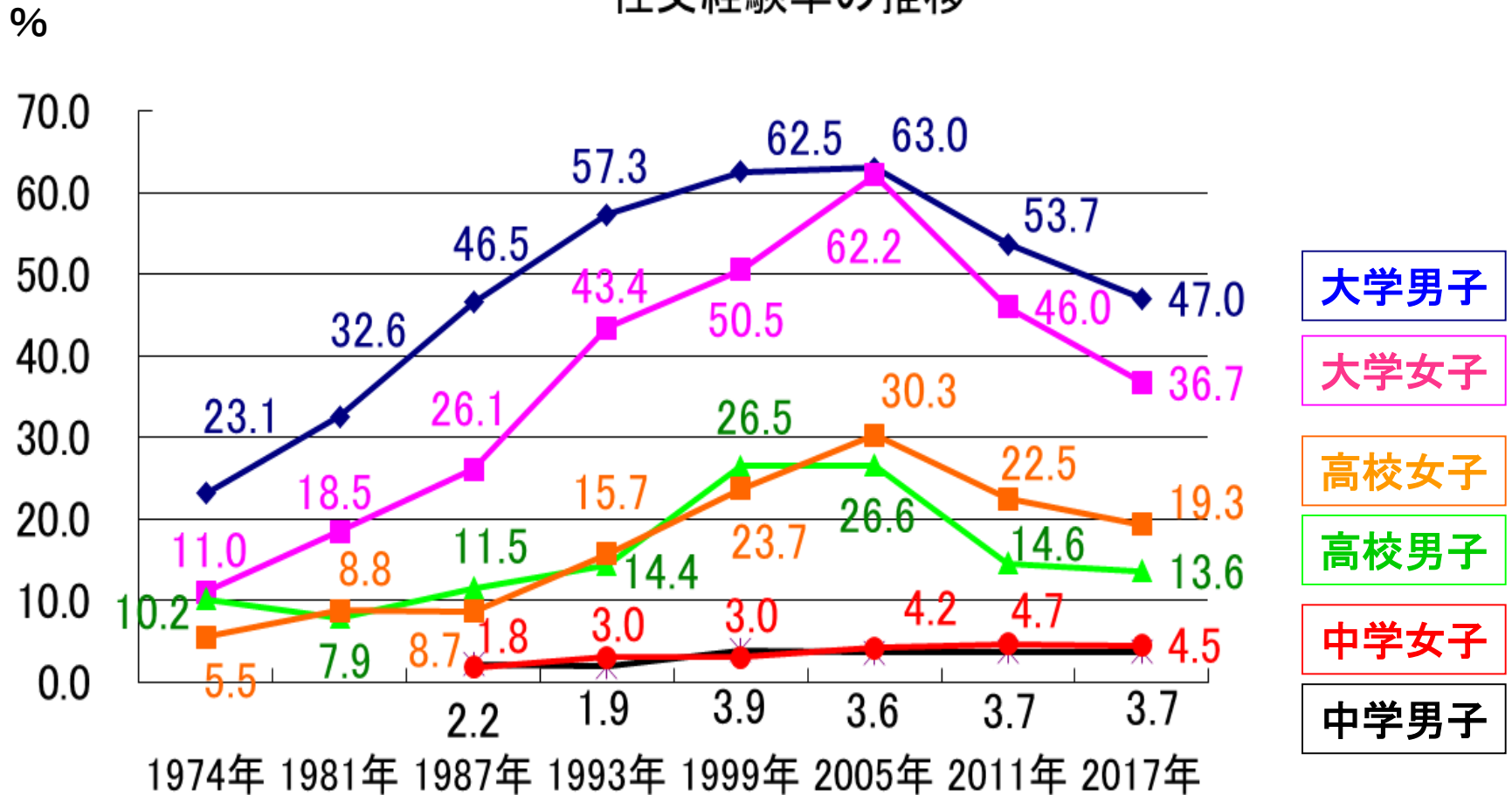
保護者の方へ



- 性教育の必要性
- 子どもの置かれている現状
- 性的虐待、性被害について
- 子どもと性について話すために

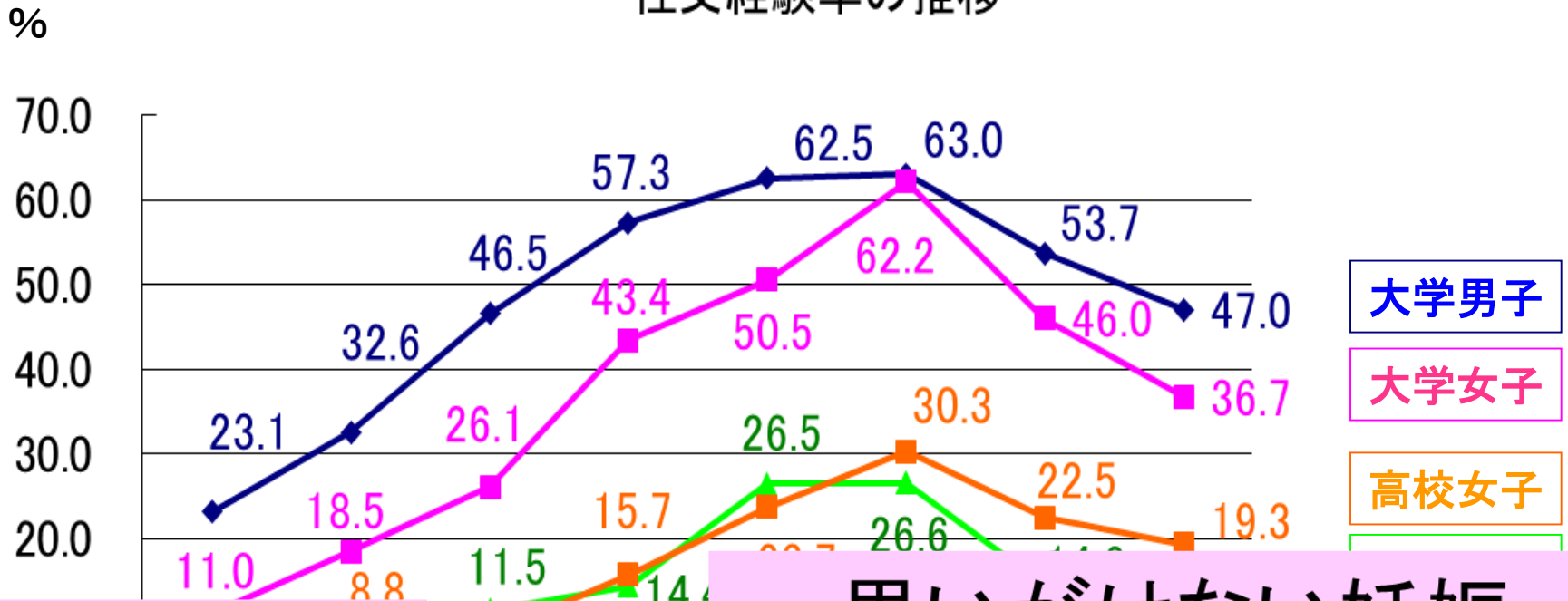
性行動の早期化

性交経験率の推移



性行動の早期化

性交経験率の推移

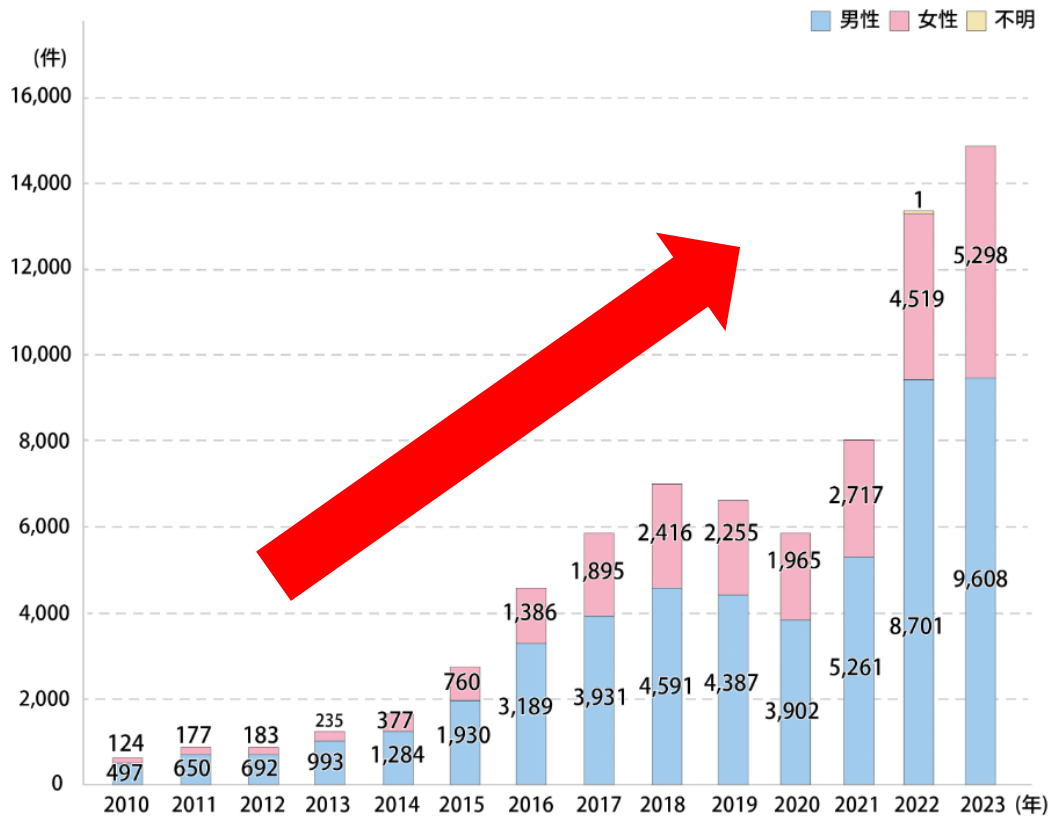


性行動の
早期化

- 思いがけない妊娠
- 人工妊娠中絶の増加
- 性感染症の増加

性感染症の流行と子宮頸がんワクチン

梅毒報告数の推移



厚生労働省「梅毒の発生状況について」及び国立感染症研究所「日本の梅毒症例の動向について」より政府広報室作成

2024年2月改訂版

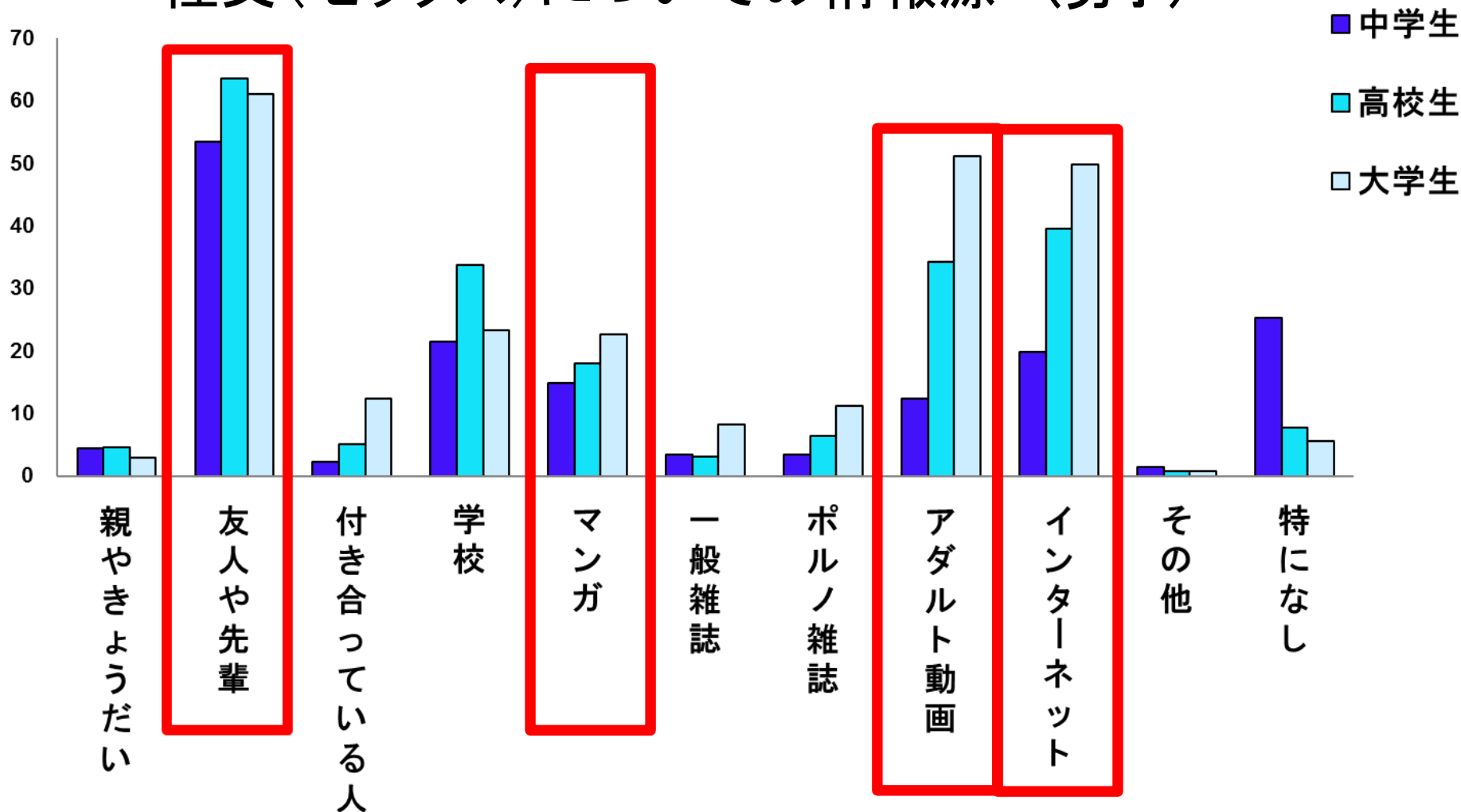
概要版 詳しく知りたい方向けの詳細版もあります。

小学校6年～高校1年^生の女の子と保護者の方へ大切なお知らせ

HPVワクチンについて知ってください
～あなたと関係のある“がん”があります～

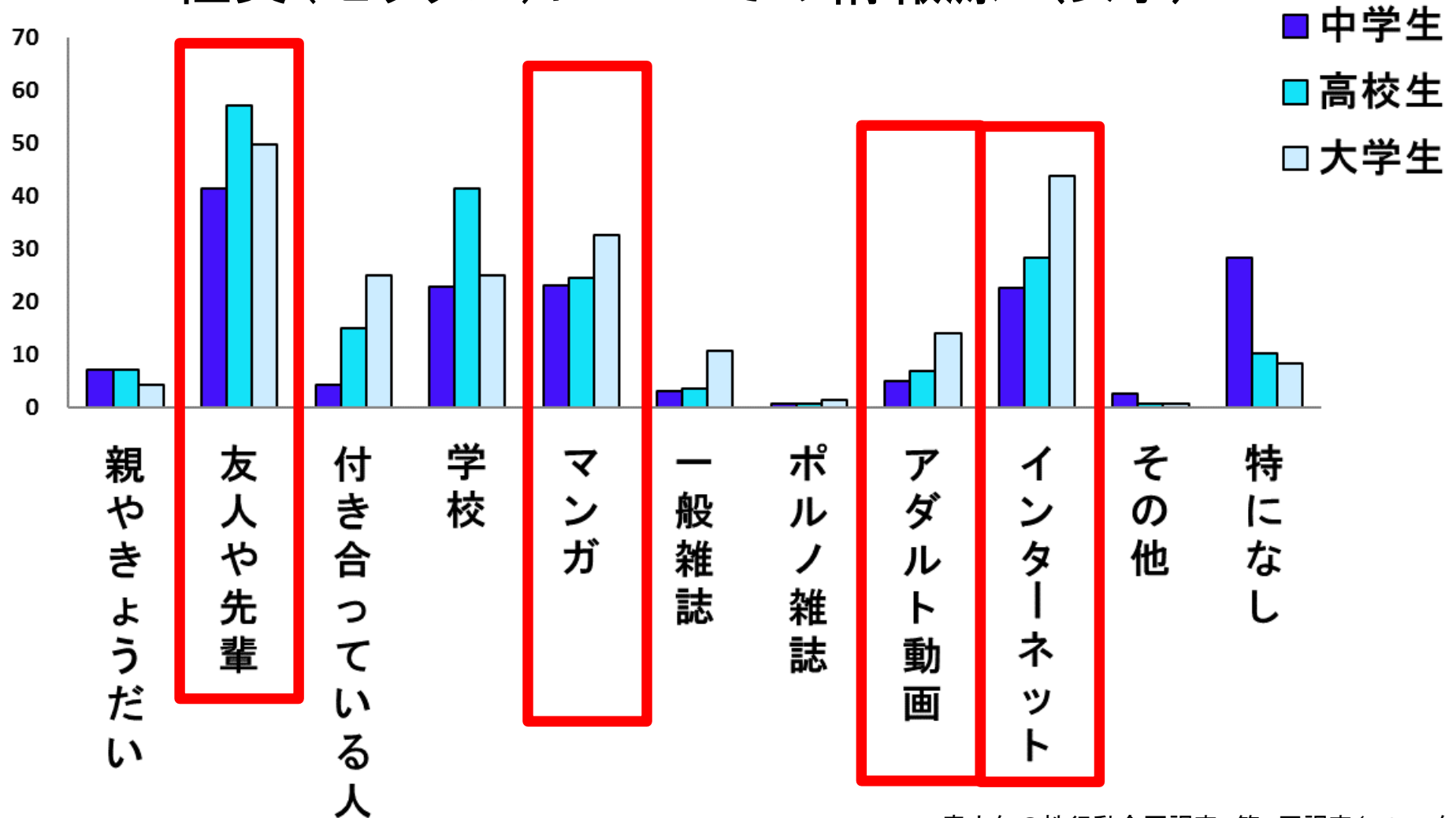
子ども達は何から性情報を得ているか

性交(セックス)についての情報源 (男子)



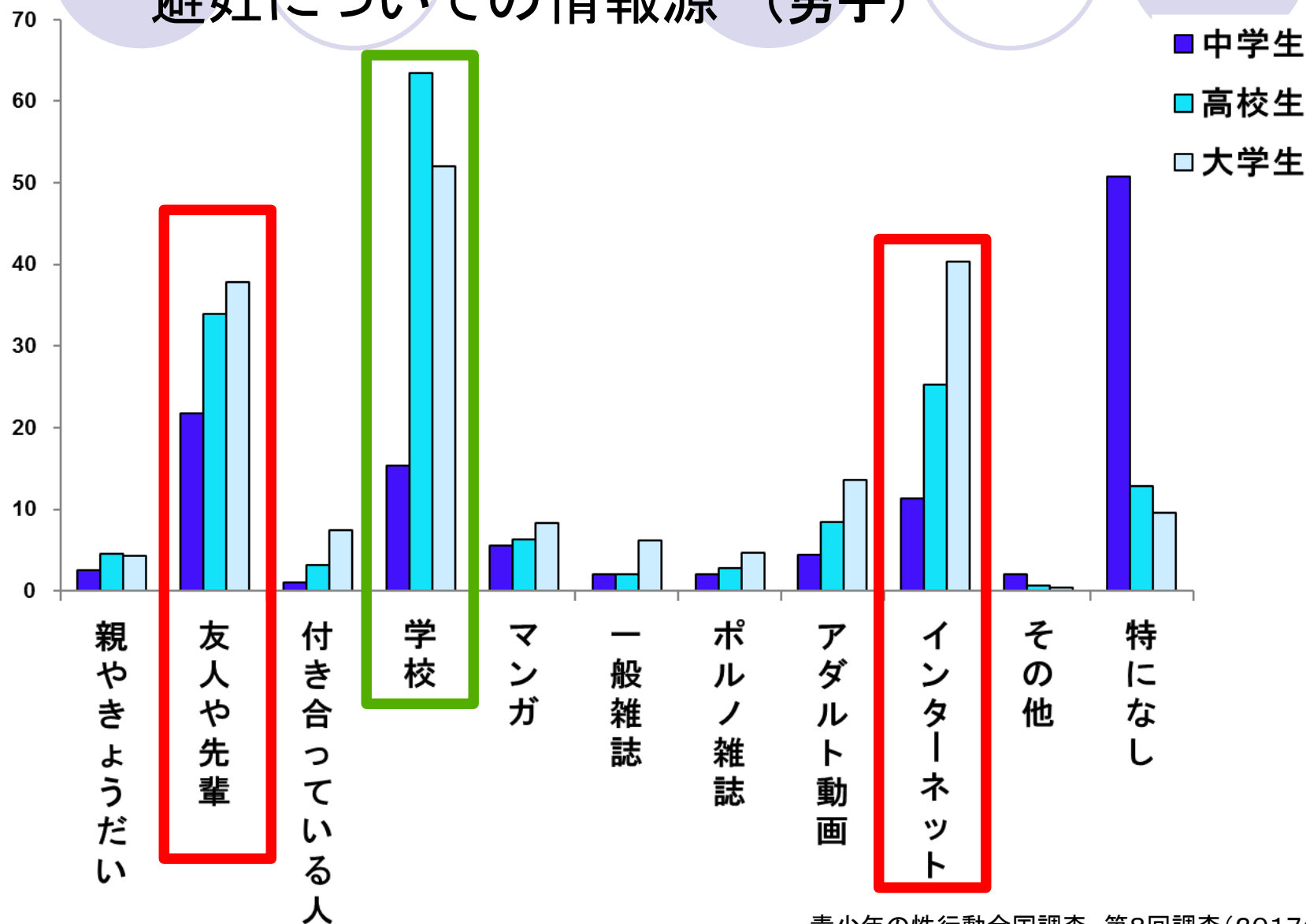
子ども達は何から性情報を得ているか

性交(セックス)についての情報源 (女子)



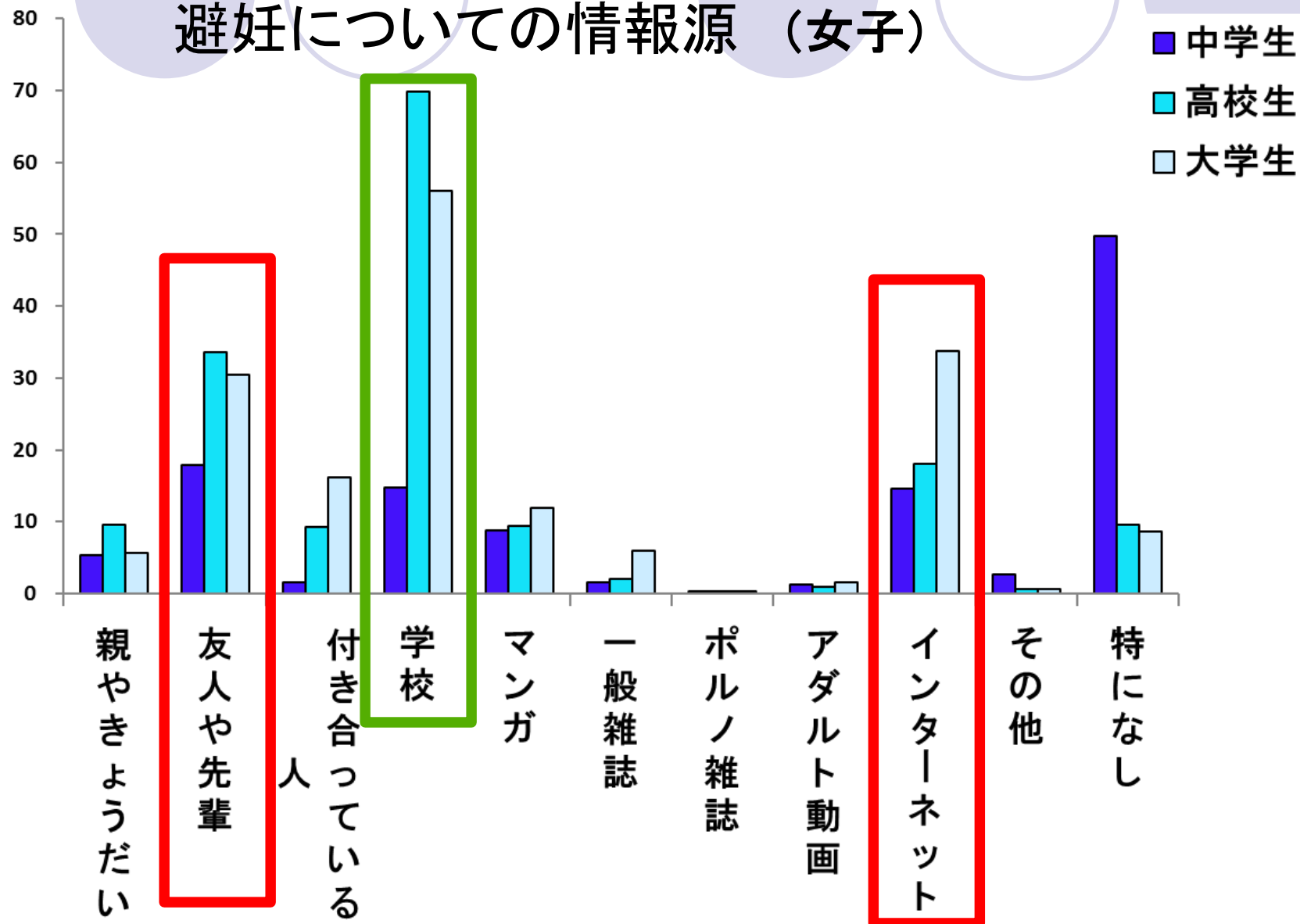
子ども達は何から性情報を得ているか

避妊についての情報源 (男子)



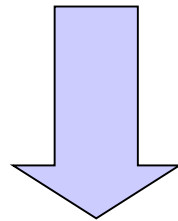
子ども達は何から性情報を得ているか

避妊についての情報源 (女子)

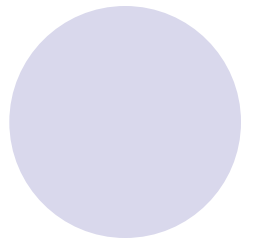
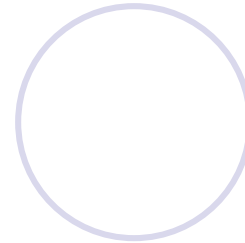
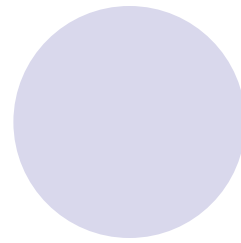
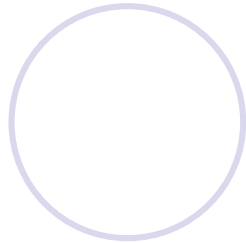
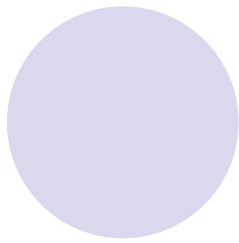


子ども達は何から性情報を得ているか

- 友人、雑誌、インターネット等から情報を得ている。
- 友人の情報源も同じ。

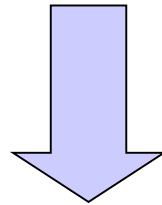


正しい情報を得られているの？

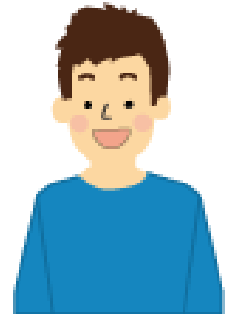


氾濫している多くの情報に

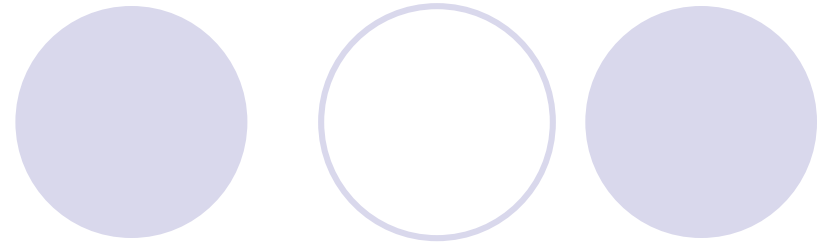
振り回されないために



科学的で正しい知識をもっておくこと



保護者の方へ



- 性教育の必要性
- 子どもの置かれている現状
- 性的虐待、性被害について
- 子どもと性について話すために

性的虐待の実態

恐ろしい事件報道に振り回されないで・・・

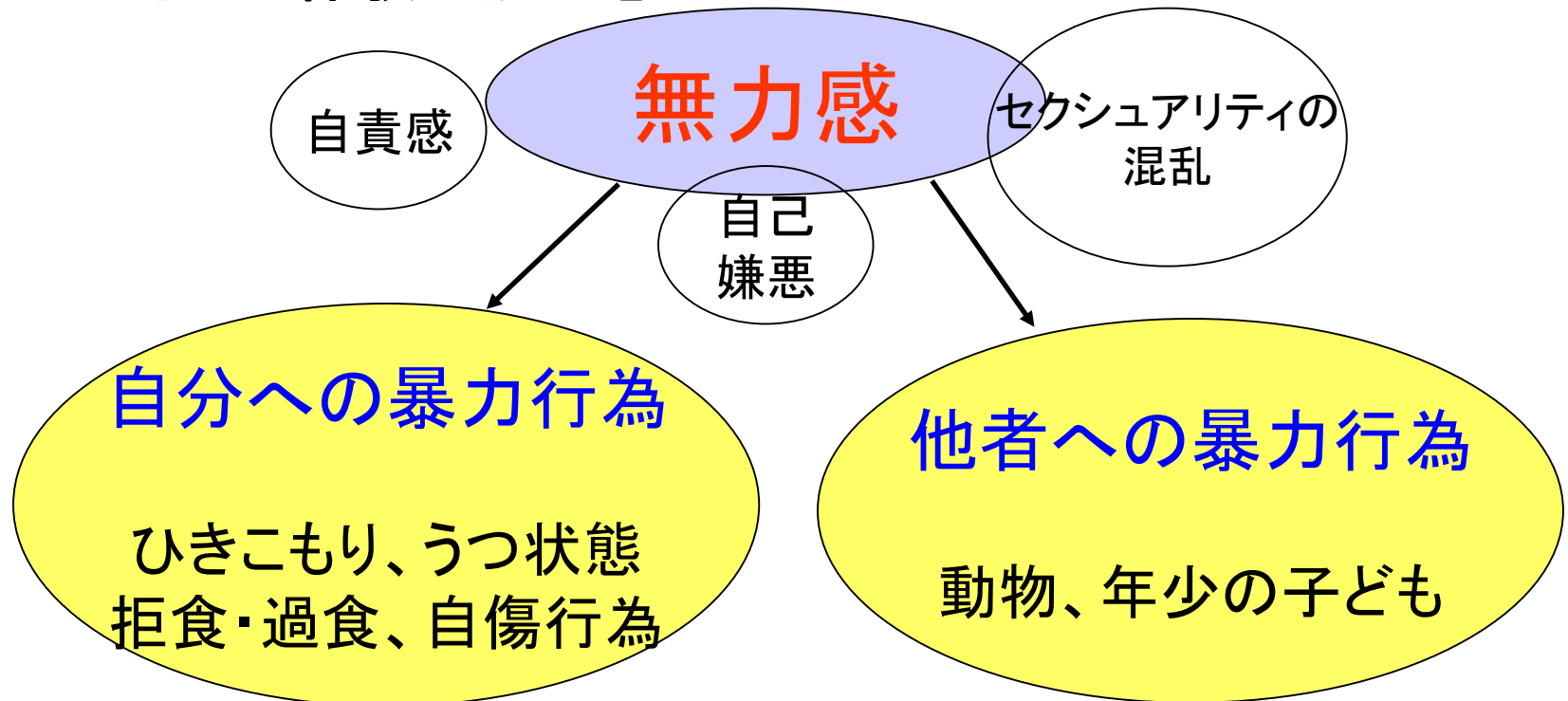
→事件の特異性と性的虐待の一般性

を分けて考える

- ①子どもが性的虐待にあうのは、外ではなく自宅や建物の中。
- ②性犯罪の加害者の多くは子どもがよく知っている人。

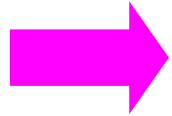
性的虐待の深刻さ

- ①性的虐待の加害者のほとんどは顔見知り＝信頼の心を打ち砕く
- ②性的虐待は、自分の心とからだが他者によってコントロールされた体験＝無力感

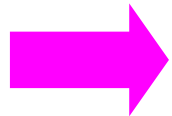


性的虐待の防止、被害を最小にするために

子どもが自分で守れる力を身につける
「～してはいけません」だけではなく、
万一危険に出会ったら、「～できるよ」と
いう行動の選択肢を！



「いやだ」と言ってもいい。
逃げることもできる。



被害にあったら、
信頼できる大人に話そう。

保護者の方へ

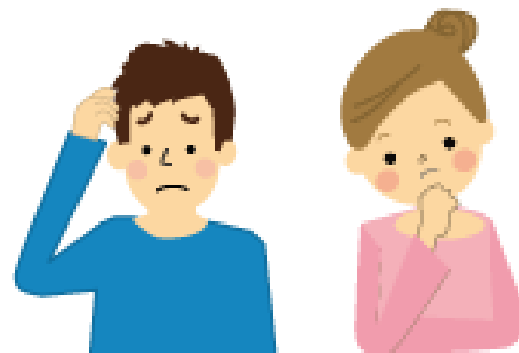


- 性教育の必要性
- 子どもの置かれている現状
- 性的虐待、性被害について
- 子どもと性について話すために

子どもと性について話すために…

- 性について、いつ話す？
- 何を話す？

⇒ 大人自身が正しい知識を学ぶ



⇒ 日頃のコミュニケーションの中で

子どもから質問をされた時やお風呂に入った時など

⇒ 絵本や教科書等を使ったり、困った時には
養護の先生や保健師等に相談してみましよう。

普段から性について話せる環境を

「家族で学ぼう性のこと」を通して

- 講座の目的

- ①正しい知識を知ってもらうこと
- ②家族で性について話すきっかけづくり

⇒今日の講座を通して、子どもがわからなかったこと、興味をもったことは、保護者の方から伝えてあげてください。

ご清聴ありがとうございました。

